

令和2年度（2020年度） 学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	電気科	科目	工業技術基礎	単位数	3	学年	1	科	電気科
----	-----	----	--------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業技術の役割を理解させるとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。

2、使用教科書・副教材

教科書 工業技術基礎（実教出版）
 教材 各実習テーマの教材資料

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数			
一 学 期	5月	<実習テーマ（1）> ・オリエンテーション ・オームの法則とレポートの書き方指導 ・テスターの取扱いと測定演習 ・パソコンの利用方法とWord基礎 ・半田こての取扱いと半田つけ実技基礎		15			
	6月						
二 学 期	7月				<実習テーマ（2）> ・抵抗直並列回路 ・電気工事实技基礎 ・パソコンの利用方法とWord基礎 ・実習ボードの製作 <総合センター実習> ・マルチメディア演習 ・シーケンス制御演習		42
	8月						
	9月						
	10月						
11月							
三 学 期	12月	<実習テーマ（3）> ・キルヒホッフの法則の実験 ・デジタル回路 ・C言語プログラミング ・電気工事实技演習		33			
	1月						
	2月						
	3月						

4、評価の方法

主体的な言語活動	生徒への発問解答など対話形式を大切にして、理解度を確認しながら授業を進める。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応等、様々な角度から積極性を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答とそれに至る思考過程及び反応を観る
観察・実験の技能	授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点にたつよう指導し、的確に行動できているか観る
知識・理解	履修事項の理解度を確認する（発問に対する解答、提出した課題等で判断） 報告書、課題の完成度を総合的に判断する

5、学習にあたっての注意とアドバイス

授業中に主体的に取り組み、観察力や分析力を反映した報告書に仕上げること。